

## クロス壁にマグネットが付くクロス下地パネル マグキャッチパネル 施工説明書

マグキャッチパネルは石膏ボード壁面とクロスの上に挟むマグネットがつくクロス下地パネルです。安全に施工していただく為に、必ず説明書をお読みいただき万全の注意を払ってください。

### ⚠️ お取り扱いについてのご注意

- マグキャッチパネルは巻物梱包で納入されますのでパネルを平らな場所で異物を挟まないように広げて、運送時の傷・破損などを確認してください。
- マグキャッチパネルは、化粧薄鋼板仕様のため、パネルを移動・反転・加工をされる場合は、パネルを平らな状態にして、滑り止め手袋着用にて二人での作業をお願いいたします。パネルをV字の状態に移動すると、腰折れ(折れ曲がり)が発生する場合があります。お取扱いは慎重に十分ご注意の上、お願い致します。
- パネルのカットは電動丸ノコ・金切りハサミ・ストレートシャーにてカットできます。丸ノコ刃は必ず鋼板用を使用し、パネルの表面を下面にしてカットしてください。
- パネルの貼り付けは、仮止め両面テープの併用を必要としない、初期接着力が高いペンギンセメント2670を推奨します。20分以内であれば、位置補正が可能です。従来の施工法(両面テープとパネル用接着剤の併用)でも貼り付けできます。壁面の下地材は石膏ボードを使用してください。



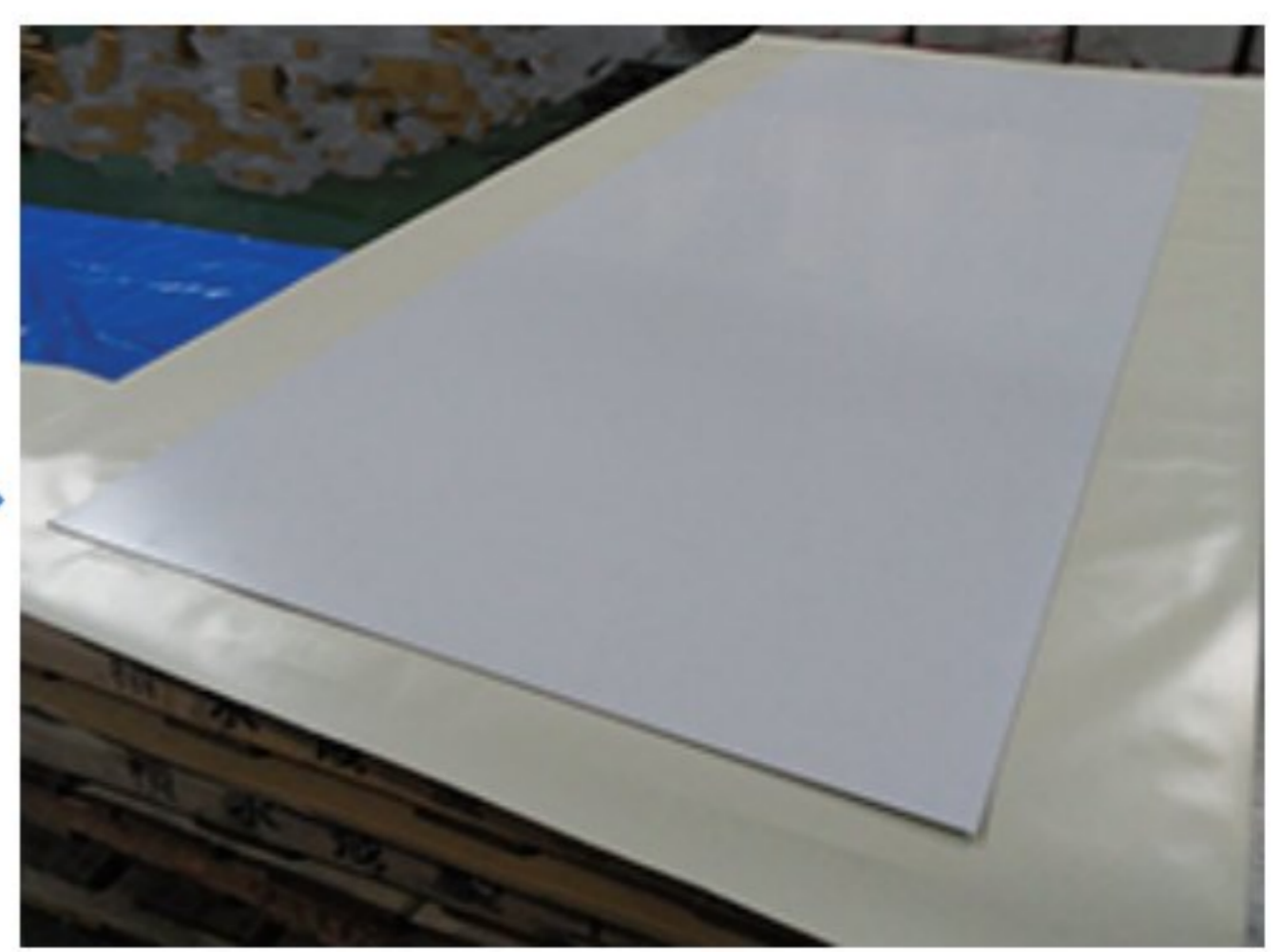
着荷姿



開梱



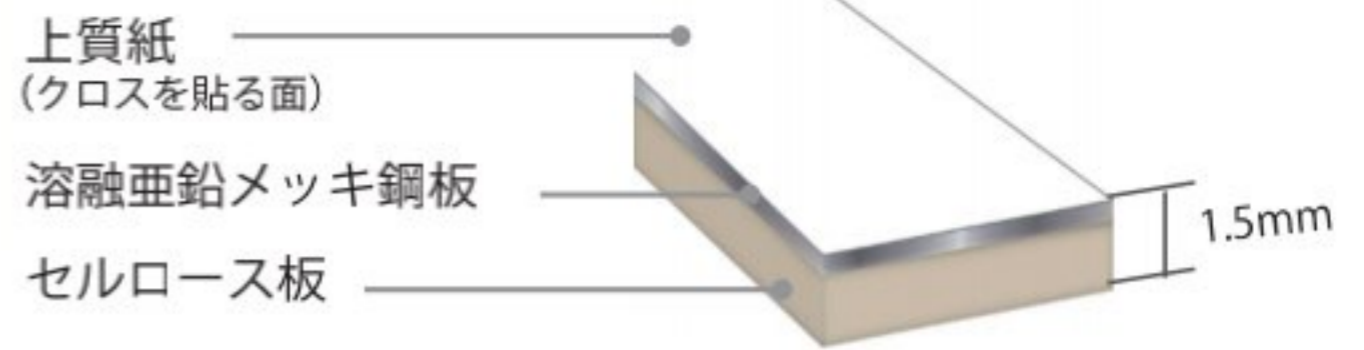
箱から取り出す



作業台に置き、汚れや傷をチェック

## 商品仕様

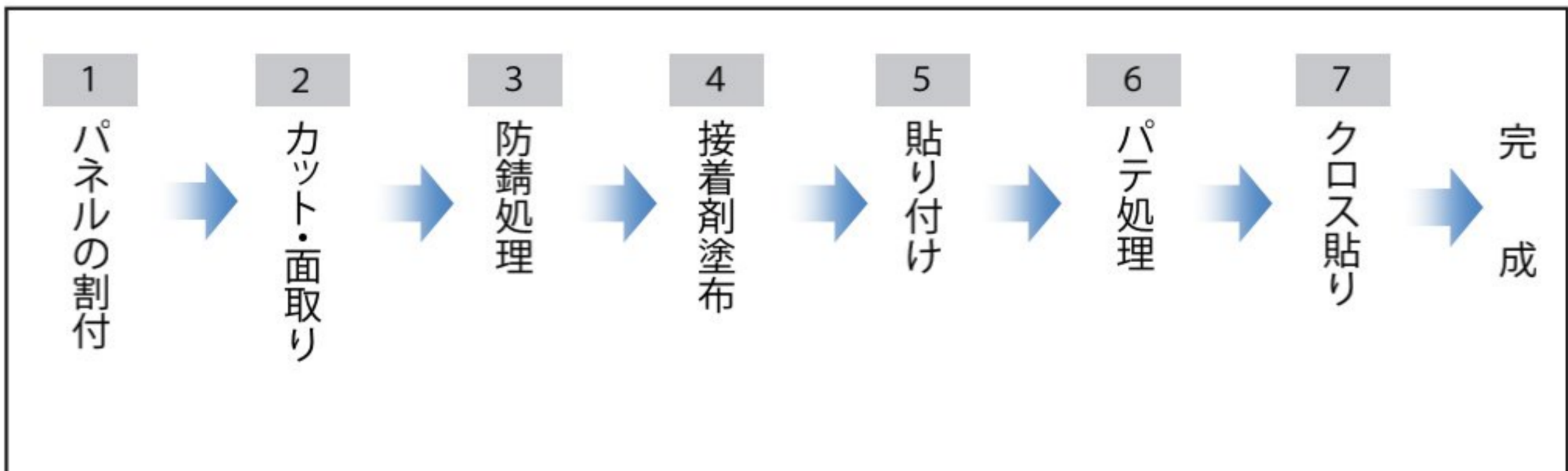
品名	厚み(mm)	サイズ(mm)
マグキャッチパネル	1.5	910(幅)×1820(長さ)



## 施工前に準備するもの

- マグキャッチパネル
- 接着剤 (キッチンパネル用)
- 切断端部用の防錆剤
- パテ処理材料・マスキングテープ
- 滑り止め保護手袋
- 保護メガネ
- コーキング・ガン
- 切断工具
  - ・ 電動丸ノコ (鋼板用丸ノコ刃使用)
  - ・ 金切りハサミ・ストレートシャー

## 施工手順



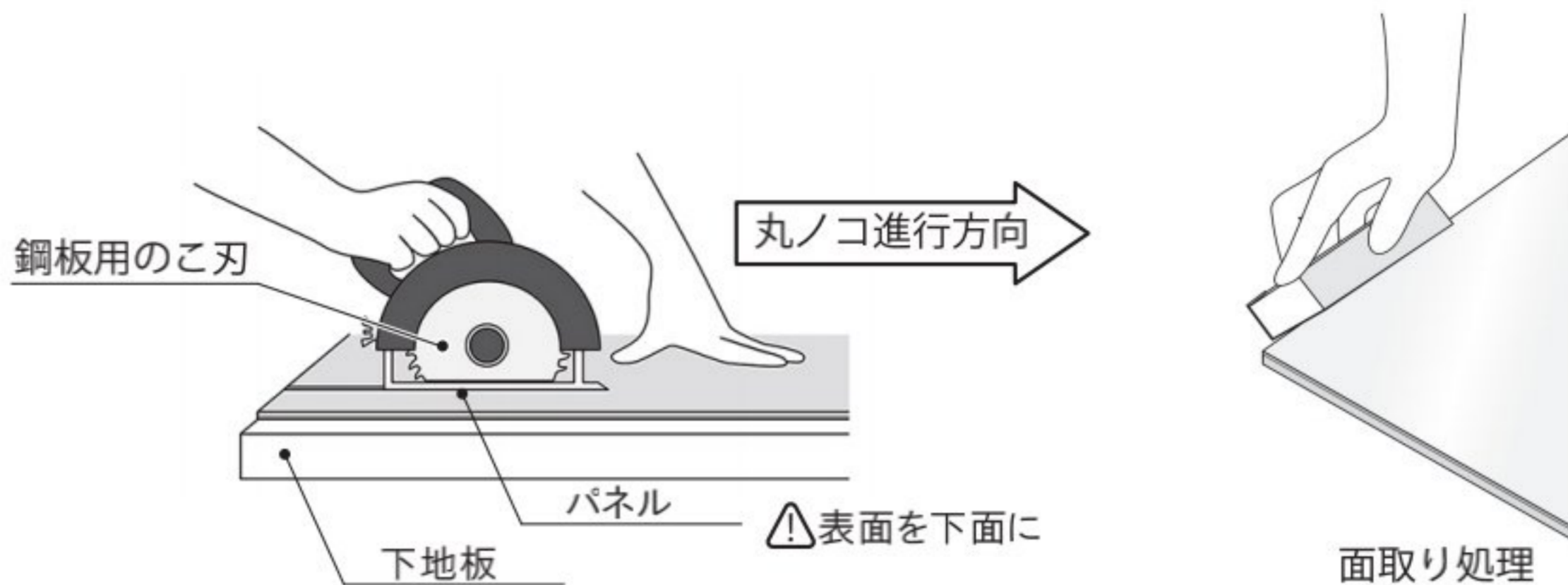
### 1 パネルの割付

- マグキャッチパネルを貼る壁面を採寸して、パネルとパネルの間隔をパテ処理のため隙間2~3mmあけて割付してください。

### 2 カット・面取り

- パネルの切断・加工は電動工具にてカット・穴あけ加工ができます。
- 切断面が鋭利なため、ケガをする恐れがあります。必ず滑り止め保護手袋を着用してください。
- 電動丸ノコは必ず、鋼板用の刃物を使用してください。  
切断の際は、パネルの下に下地板 (ベニヤ板 MDF 等、スタイロフォーム) を敷いてパネルの表面を下面にしてください。

- 電動ストレートシャー・金切りバサミでもカットできます。
- 切断面はバリ等が発生しますので、必ずサンドペーパー・金ヤスリ等で面取り処理を行ってください。

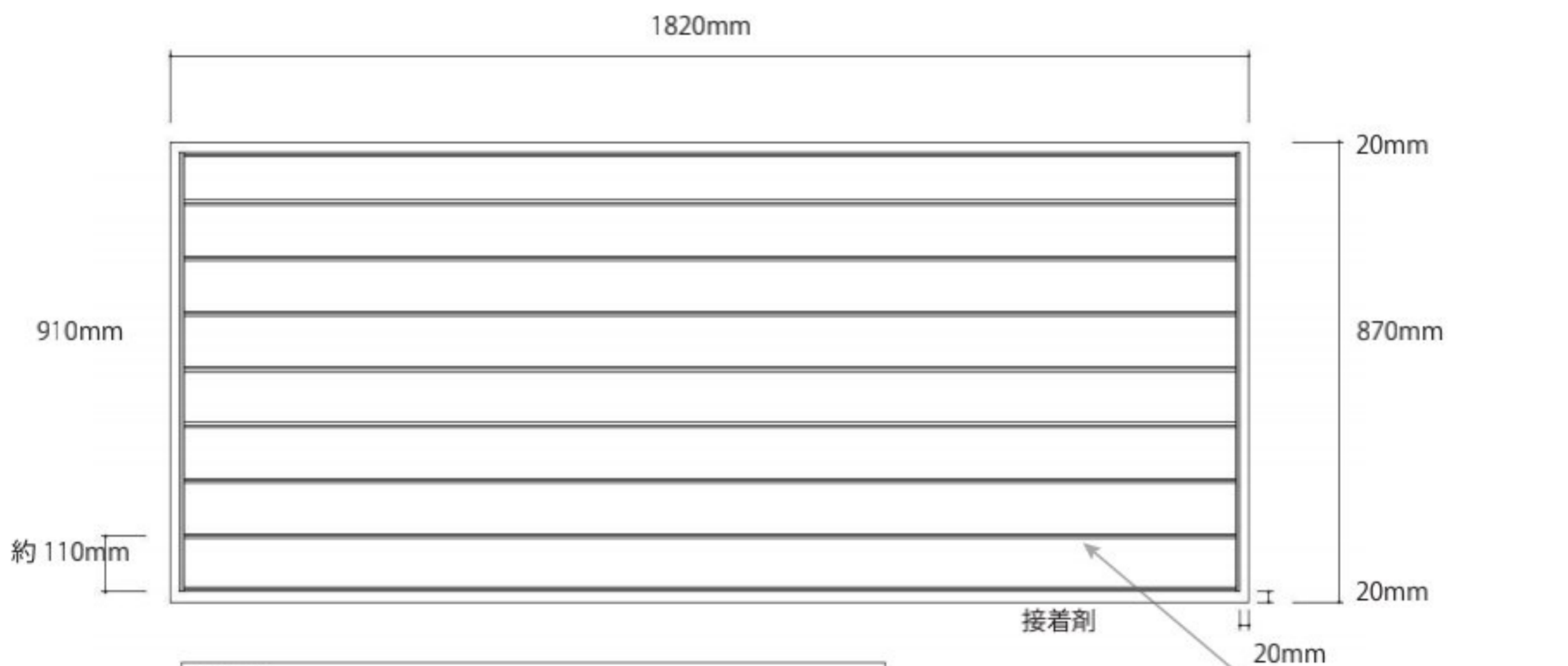


### 3 防錆処理

- 切断後は、端部に防錆剤を塗布してください。

### 4 接着剤の塗布

- 下地面のゴミ、ホコリをきれいに取り除いてください。
- 接着剤を下図のように塗布してください。  
 ※接着剤は弊社推奨の「ペンギンセメント 2670」をご使用ください。（サンスター技研社製）  
 ※仮留めテープを併用せずに、貼り付けが可能です。



■ 専用接着剤使用量：1.5本（目安）  
320ml / 本

## 5 貼り付け・圧着

- 貼り付け位置に下端から貼り付けし、接着剤塗布位置を圧縮してください。
  - ※圧縮ムラは表面の仕上がりに影響するため、ローラー等を使用して均一に圧縮してください。
  - ※施工後 20 分以内であれば位置補正が可能です。
  - ※施工後 30 分以降より初期硬化が始まります。
  - ※圧縮が不十分な場合は、端部に浮きが出る場合があるので、圧縮は必ず行ってください。
  - ※貼り付け後、24 時間以上力が加わらないように養生してください。



## 6 パテ処理

- パネル間の隙間にパテ処理をしてください。

## 7 クロス貼り

- マグキャッチパネルにクロスを通常の作業ではることができます。
  - ※クロスの厚みにより、磁石の吸着力が変わります。薄いクロスのご使用をお勧めします。